

No. 97  
2014/6/30



岐阜大学職員組合発行  
〒501-1193 岐阜市柳戸1番1  
Tel. 内線 9552 Fax 058-230-1118  
E-mail: kumiai@gifu-u.ac.jp  
HomePage: 岐阜大学職員組合 (検索)

## 公 示

岐阜大学職員組合規約第26条および選挙規定に基づき、  
下記の要項にて第31期中央役員選挙を実施します。

2014年6月30日  
岐阜大学職員組合第30期中央選挙管理委員会  
委員長 合掌顕

### 記

#### 立候補受付期間 :

2014年7月7日(月)午前10時～7月11日(金)正午

#### 立候補届出方法 :

中央役員選挙届出用紙に必要事項を記入し、中央選挙管理委員会  
(事務局:組合事務室)に届け出ること。

#### 投票期間 :

2014年7月18日(金)午前9時～7月25日(金)午後5時

以上

# 第1回 中央委員会開催のご報告

6月4日（水）12時10分より、第1回中央委員会が組合事務室にて開催され、各支部から選出された中央委員と中央執行委員が出席しました。

議事に先立って、第30期中央委員会の議長に、応用生物科学部支部の松本委員が選出され、以降の議事進行は、松本議長によって行われました。

今回の中央委員会の主な議題は、1) 第30期中央選挙管理委員会の承認、2) 第30期活動中間報告、3) 組合の財務状況の報告、でした。

## 1) 第30期中央選挙管理委員会の承認

第30期中央選挙管理委員会は、各支部より2名の委員が選出され、計8名の委員にて発足することが承認されました。また、第1回中央選挙管理委員会が6月11日（水）に開催されることが確認されました。

## 2) 第30期活動中間報告

中央書記長より、第30期の活動中間報告が資料をもとに行われました。

活動の柱は5つあり、1つ目は、県労働委員会の仲裁により岐阜大学と組合との間で、8条からなる団体交渉のルールが明文化された和解協定が結ばれ、これにより1年半以上にわたって実施できなかった岐阜大学との団体交渉を再開させることができたこと。2つ目は、岐阜大学職員の労働条件の改善にむけた活動として、大きく3つあり、1) 55歳をこえる職員に対する給与改正については、団体交渉の席で組合が職員への説明会の実施を求め、12月25日に大学が全職員を対象とした給与改正に関する説明会を開催したこと。2) それ以外の給与改正に対する代償措置については引き続き、大学との交渉を行っていること。3) 組合員に起きた雇い止め問題について組合として対応し、その結果「雇い止めが撤回」されたこと、が報告されました。3つ目は、大学運営の透明化・民主化に寄与するため、全職員に関わる重要な案件については「OpenUnion号外」を発行し、全職員へ向けて情報発信をしたこと。今期は「学長選考公開質問状に対する各候補者からの回答」をはじめ、計3回の号外が発行されたことが説明されました。4つ目は、組合加入の促進および組合の組織強化の取り組みとして、2013年11月1日から2014年1月末までの期間、年末・年始拡大キャンペーンを実施し、未組合員への勧誘活動を実施したこと。4月に新入職員を対象とした資料配布および説明会を実施し、3名の新加入が実現し、これまでに計17名の新規加入者があったこと。そして、时限付きの特別委員会を設置したことが報告されました。5つ目は、組合員同士の交流や学習活動の実施について、第30期中間活動日誌をもとに説明がなされた。最後に、全大教や諸団体との連携について説明がなされました。

## 3) 組合の財務状況の報告

第30期の中間となる2014年3月末までに支出した金額と第30期の予算を比較し、赤字になっている項目「情宣費」等についての説明がなされた。学長選考公開質問状に対する各候補者からの回答を意向投票までに全職員に配布するために業者へ印刷を発注した点が要因としてあげられた。今後は、学長選考等が実施される期は、それに係る経費を見積もった上で予算をたてる必要があることが確認された。

## 学習討論会「大学のあり方を考える～大学改革、ガバナンス改革を問う～」に参加して

5月8日に名古屋大学で行われた学習討論会に参加してきました。

最初に中嶋哲彦氏（名古屋大学教授・全大教中央執行委員長）より「『大学のガバナンス改革』と関連法案の問題点」と題する報告が行われました。中嶋報告では、近年、中教審や教育再生会議の打ち出す文書が、日本経団連や経済同友会の政策提言と内容的に接近していることが具体例をあげつつ論証されていました。しかもそれらが「大学の社会的責任」「ステークホルダーである国民の意思」といった言葉とともに提起されており、中嶋氏は、教育の意義と経済発展が等価値のもととされている風潮に懸念を表明しておられました。

次いで新村洋史氏（名古屋芸術大学）より「大学のあり方を考える～大学改革、ガバナンス改革を問う～私立大学の教員としての立場から」と題する報告が行われました。新村氏は、私立大学教員としてのご自身の経験を元に、理事会および学長によるトップダウン型大学運営が、いかに教育研究の質を低下させ、モラルの低下と「不祥事」の発生をもたらしてきたかを詳細に展開されていました。その上で、国立大学の私立大学への接近という意味で、両者が手を組んでこの問題に対処していく必要性があること、そのために国立大学の教職員たちが私立大学の問題も自身の問題ととらえていく必要があることなどを強調されました。

名古屋大学での学習会でありながら、東海圏を中心にさまざまな大学から参加者が集まり、私立大学から来た方もおられたことが印象的でした。国立大学協会が大学間連携の場として機能しなくなりつつあるいま、労働組合を核とする、私立大学も含めた大学間共闘の可能性が生まれつつあるのではないかと思わせる会であったと思います。

（中央執行副委員長 山本公徳）

## 岐阜県中央メーデー

5月1日（木）JR岐阜駅北口駅前広場にて、9時半よりメーデー集会、11時からカーニバルパレードが行われました。岐阜大学職員組合からも5名が出席しました。

## ボウリング交流会

5月9日（金）マーサボールにて、毎年恒例のボウリング交流会を開催しました。参加者は16名あり、楽しい時間を過ごしました。



## 福島被災地視察報告会

5月27日（火）18時10分より、福島被災地視察報告会が地域科学部第1会議室にて行われました。この報告会は日程決定から開催日までの期間が短かったにもかかわらず、13名の参加がありました。

報告会は、工学部支部の新村先生の司会により、まず中央書記長から、福島被災地視察の旅程について、視察で撮影された写真を提示しながら説明が行われました。次に、工学部支部の隈部先生が組合ニュース96号に寄稿された内容をもとに、視察を通して変化した研究に対する意識などを熱く語られました。また、その他の視察参加者にも感想を述べてもらい、最後はフリートークの時間を設け、視察参加者が生で感じた被災地の状況について交流しました。

当日、会場には組合OBの安部淳先生が撮影された写真がコメントつきで飾られていました。

### 恒例！サマーパーティーのご案内

今年は応用生物科学部支部主催のサマーパーティーです。

柳戸農場でバーベキューを行うという素敵な企画です。ぜひご参加ください。

日 時 2014年8月1日（金）17時30分より 雨天決行

会 場 柳戸農場・農機具庫

会 費 組合員の参加者 500円、未組合員の参加者 1000円

その他

- ・今回のサマーパーティーは家族同伴可です。
- ・参加申し込みは7月28日までに組合事務室まで。
- ・当日の飛び込み参加も歓迎します。

問合せ先 岐阜大学職員組合事務室

・fax 058-230-1118 , kumiai@gifu-u.ac.jp

